

キッズクラブ ～まが玉を作ってみよう～ 8月9日(土)

主催：諏訪湖博物館・赤彦記念館  
協力：下諏訪町少年警察ボランティア協会



太田正清君の感想は  
(南小1年・富ヶ丘)

楽しかった。  
作るのが大変だった。  
いちばんにできてうれしかった。  
手伝いができてよかった。

①



ヤスリでけずる

②



がんばるぞ!

③



サンドペーパーでみがいて

④



宮坂館長にみてもらって

⑤



ビーズをつけて完成



お手伝い

「まが玉」とは、弥生時代から古墳時代にかけて、お祭りの道具やお守り、またはアクセサリとして使われた玉(石)のことです。オタマジャクシのような形をしたきれいな玉で、お母さんのおなかの中にいる子ども(胎児)の姿を表現したものとか、お月さまの形を表したものなどといわれています。

邦子忌 7月12日(土)



主催：下諏訪町教育委員会  
主管：諏訪湖博物館・赤彦記念館(今井邦子文学館)  
協力団体：

下諏訪町第三区婦人会茶道部 真木の会  
語りと朗読の会(赤彦記念文学祭実行委員会)  
下諏訪宿湯田町まちづくり協議会  
明日香諏訪支部 あさかげ短歌会下諏訪支社  
下ノ諏訪赤彦記念館短歌会

- 1) 抹茶呈茶
- 2) 邦子の童話朗読「祈りの鈴」
- 3) ギャラリートーク
- 4) 邦子忌に寄せられた短歌のしおり(配布)
- 5) 今井邦子着用の着物を展示



抹茶呈茶



邦子童話の朗読

童話集  
「笛を吹く天人」  
(大正十一年)

「祈りの鈴」

「遠く住む母からの贈り物、美しい小ぎれを、いじわるなお近に盗られ、返してもらおうことを小枝子は、神鈴を鳴らし神に頼む。その鈴の音にこもる願いに――」

お宮の女神様はお使女の少女たちと一緒にきき耳をたてました。そして小枝子のお祈りの一部始終をききとりますと、大へん小枝子に同情なされて、明日はその望みをかなえさせてやろうとおっしゃいました。

天上界でこんな御相談の有った事は露程も知らない小枝子は自分の祈りはきかれるだろうか、と半ば案じながら学校から帰ってまいりました。するとどうでしょう、きれいな水の流れの一本橋の上で、ばったりお近に出逢いました。

「おちかさん、私の小ぎれを返してください」

小枝子は殆んど自分で自分を疑う程自分の気の付かぬ間に、此無鉄砲きわまる言葉を出して

「しまいました。するとこれも不思議に、あの片意地な、一度自分の手に入った以上、再びもとにかえした事のないお近が、しおらしく真赤な顔をして、『かんにんして下さいね』

こう言つて、小さい袂のなかからあの美しい金襴や友禅の小ぎれの一まとめにしたものを素直に出して小枝子に渡しました。此不思議に美しい光景はきれいな小川の水にはつきりうつし出だされました。

天上界の神様たちは一斉に御手を打つて、萬歳をとなえました。勿論人間である小枝子たちには聞かれませんでした。小枝子は夢ではないかと思つて思わずお近におじぎをしてそのきれを受取りました。するとお近はもつともつと丁寧におじぎをして、二人は明るい心で別れました。

